

備前市事務事業評価表

事務事業名	海岸整備事業		コード	01-03-03-02
			担当課・係	都市整備課 管理係
			担当者	奥西 重裕
事業実施期間			電話	0869-64-1833
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	災害に強い街づくり(海岸整備)		
	小項目(施策)	高潮対策と海岸整備		

事業について	
目的 (何のために)	瀬戸内・海のネットワーク推進協議会が主催する結活動によりお、瀬戸内海岸の市町村が連携し、海岸清掃やホームページ・広報誌による情報発信などを行い、より良いまちづくりを目指す。
対象 (誰・何を対象に)	港湾・漁港をはじめとする海岸利用者
内容	瀬戸内海に面する地域の連携及び美化活動

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
	290 人	220 人	
	2 回	2 回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	1,106	受益者負担		人件費	505	受益者負担	
		市債	一般財源等	1,106			市債	一般財源等
合計	1,106			505	505	0		0

必要人員	0.10 人	0.05 人	
結果指標名	ボランティア参加人数		
結果指標量	290	220	
単位			
対前年比	-	75.86%	0.00%
活動にかかるコスト	1,106,000 円	505,000 円	
単位当たりコスト①	3,814 円	2,295 円	
結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	-		
活動にかかるコスト			
単位当たりコスト②			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	瀬戸内海に面する地域の連携及び美化活動により、ゴミの除去及び海へのゴミの投棄防止を促進させようとしている。		
成果指標名	ボランティア参加人数		
式又は説明	おかやままつくりプラン数値目標により、参加人数の目標が設定されている。		
	17年度	18年度	
成果指標量	290	220	
対前年比	-	75.86%	0.00%
到達目標値	320	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

(平成18年度事業)

妥当性評価<A~E> C

課題認識

大分県から和歌山県までの11府県の広域にわたる瀬戸内海沿岸の107市町村及び国の支部局団体が連携して、海岸沿の美化活動などを行い、「美しい瀬戸内海を守っていく」という意識の浸透を図る共にゴミの排出の抑制につながり予防的な取り組みの推進を行っているが参加団体間の情報交換は清掃活動以外はありません。

効率性評価<A~E> C

課題認識

瀬戸内・海のネットワーク推進協議会の会費は年60,000円であり、算出項目は港湾管理費に計上している。年会費により各種情報誌の作成やホームページの運営を行っており、港湾・漁港及び海岸を利用する方に各種情報を提供しているが十分活用されているとは言えない。また、清掃活動については十分とは言えないものの活動運営は概ね達成されている。

有効性評価<A~E> B

課題認識

備前地域においては、多数のボランティアの参加清掃が出来る程の広い海岸が少なく対象地域も限定され、事業費に見合う成果を望むことは困難である。しかし、日生地域エリアの拡大により費用や回数などの調整は必要となるが現状維持が良い。

平成19年度の状況		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明
目標値	結果指標量①	ボランティア参加人数
	結果指標量	320

総合評価	
協議会協賛の海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」は年1回の開催であり、各団体との情報交流も専用のホームページを通じたもので、会費に見合うだけの成果が見受けられない。今後は海岸清掃活動については継続していくが、備前・日生地区との調整すると共に協議会への関わりについては、脱会も含め今後検討する必要がある。	評価区分 <A~E> C

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	海岸清掃活動を毎年実施することで美しい瀬戸内海を守っていく。	継続実施	美しい瀬戸内海の維持